

ネットワークを介して人間の日常活動と情報・体験共有を支援する複合現実情報環境

1. 研究目的

日常活動の支援と情報共有・体験共有を可能とする「複合現実情報環境」の構築技術の確立

2. 研究内容・期待される研究成果

研究項目(1)

複数センサ情報と画像情報を用いた屋内外での現実世界と仮想世界の幾何的位置合せ手法の開発

センサ統合による幾何的位置合わせ

小型カメラ
+
GPS・姿勢センサ
+
携帯情報端末

どこかお昼ごはんを食べるところはないかな？



情報提供・体験情報のフィルタリング

位置情報・ユーザの嗜好

研究項目(3)

場所と状況に応じた複合現実型情報提示のための情報フィルタリング機構の開発

研究項目(4)

プロトタイプシステムの開発を通じた実証実験

今日の食堂のランチは最高だったわ!!

横矢研究室はどこかな？

無線ネットワーク

体験情報の提供

案内情報・体験情報の獲得

研究項目(2)

ネットワーク共有型データベースを用いた現実世界に対する情報付加機構の開発

地図・地理情報
ナビゲーションコンテンツ
+
体験情報

3. 研究成果の社会的意義・社会への波及効果

- ・すべての人が安心して安全に利用できるネットワークアプリケーション: 情報アクセシビリティの向上
- ・複合現実感研究の新展開